

今回のテーマは

「教職員のワークライフバランス」

みいなバックナンバーは
こちらからどうぞ ⇒⇒
ウェブ版もみてね!



ワークライフバランスとは仕事と生活のバランスがとれた状態のことですが、全国的にみて、現在の学校現場では教職員不足が深刻化していることもあり、**時間外勤務の多くを占める部活動指導は教職員の大きな負担となっています。**

そこで、国は2023年度～2025年度の3年をかけ、学校主体で運営している「公立中学校」の「休日」の部活動を、段階的に地域のクラブ活動に移行させる取り組みを進めています。

那須塩原市も「とちぎ部活動移行プラン」として、2025年度までに全ての公立中学校の休日の部活動を一つ以上、地域クラブ活動にすることを目指すとしています。試験的に合同練習体験会なども実施され始めています。

「部活動の地域移行」を実施した全国の学校の感想（一例）

- 教員** ・ 負担軽減になった。(週末に休養を取ることができるようになった。週末に家族と過ごす時間ができた。教材研究に充てる時間が増えた。)
- 生徒** ・ 技能が向上し、楽しくなった。
・ 友人が増えた。
- 指導者** ・ 生徒の意欲や技能の向上が感じられた。
- 保護者** ・ 専門的知識を備えている地域指導者から指導を受けられることは良いこと。
・ 学校と指導者の連携が取れているのであれば地域で部活動ができることは望ましい。
・ 子どもの人間関係形成につながった。
- その他** ・ 人数不足で活動できなかった部活動が可能になり、試合出場もできそう。

課題

- ・ 指導者の確保
- ・ 練習場所の確保
- ・ 保護者の経済的負担
(指導者報酬代、会場使用料、交通費)



教職員のワークライフバランスを改善するために、部活動の地域移行は一つの有効手段で

あり、地域と共に考えていくことが重要です。地域全体で子どもを育てるという意識が、

「教職員のワークライフバランス」を改善することに繋がります。